

TOSHIBA



東芝IHクッキングヒーター設置工事説明書

ビルトインタイプ(単相200V)

形 名 BHP-M24AS,BHP-M24A








安全上のご注意

- 設置工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく据え付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。










表 示	表 示 の 意 味
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が ^{*1} 傷害を負ったり ^{*2} 物的損害の発生が想定される内容を示します。





^{*1} 傷害とは、治療に入院や長期の通院を必要としない、けが・やけど・感電などをさします。
^{*2} 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

図記号	図 記 号 の 意 味
 禁 止	○は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、○の中や近くに文章や絵で指示します。   
 強 制	●は、強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で指示します。  

- 設置工事完了後、試験運転を行い、異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって、お客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この「設置工事説明書」は、取扱説明書とともにお客様に保管いただくように依頼してください。

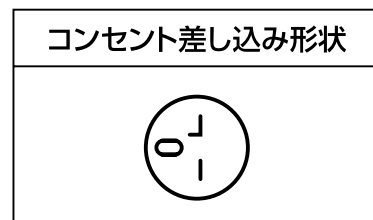
 警告	 設置工事は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する ●ご自分で設置工事され不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。
	 設置工事は、設置工事説明書に従い確実にを行う ●設置工事に不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。
	 設置工事は、機器の重量に十分耐える所に確実にを行う ●耐重量不足や取り付けが不完全な場合、機器の落下や転倒によりけがの原因になります。
	 電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」、及び設置工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。また、電圧は製品の定格電圧に合わせる ●電源回路内容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
	 電源は200V-20Aの専用回路と漏電しゃ断器を設置する また、電源プラグ(250V-20A)に合った専用コンセントを単独で使用する ●電源回路の容量不足や設置工事不備があると感電、火災の原因になります。
	 アース工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う ●アースが不完全な場合には、感電の原因になることがあります。
	 設置工事部品は、必ず付属品または、指定の部品を使用する ●異なった部品を使用すると、機器の落下や転倒、水漏れ、感電、火災の原因になります。
	 絶対に分解・修理・改造は行わない ●火災、けが、感電の原因になります。

<div>  注意 </div>	 トッププレートに衝撃を加えない ●ひびが入ったり割れた場合、異常動作、感電の原因になります。 ※トッププレートの上に乗ったり、物を落としたりしないでください。
	 試験運転中は、トッププレートなど高温部にふれない ●やけどの恐れがあります。
	 ワークトップの材料は、耐熱材料のものを使う ●熱硬化性樹脂高圧化粧板 (JIS K 6903) またはこれと同等以上のもの。 耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因になります。 ※ニス引きのものは変色するため、使わないでください。

工事される方への お願い	<ul style="list-style-type: none"> ●この器具を正しく安全にご使用いただくために、指定された工事を行ってください。 ●工事完了後に、試運転を必ず行い、お客様へ正しい使いかたをご説明ください。 ●この説明書は、必ずお客様にお渡しください。 ●梱包箱の内フラップに記入された付属品が同梱されていることをご確認ください。
-------------------------	--

1 電気工事および接地工事

- 電源工事や接地工事は「電気設備技術基準」ならびに「内線規程」に準じてください。
- 電源は20A専用回路（ブレーカ付）を設けてください。電源は必ず単相3線式200Vを使用してください。
3相電源の1相での使用はしないでください。故障の原因となります。
万一のときの安全のために、漏電しゃ断器の設置をお願いいたします。
●推奨漏電しゃ断器: 定格電流20A、感度電流30mA
- 電源コンセント：埋込コンセント……………単相3線式・2極・接地極付・250V・20A
(推奨形番 東芝ライテック DC2711E 松下電工 WN1932)
●電源コンセント取付位置は、次項の「システムキッチンとの関係寸法図」を参照してください。
●電源コードの直付は絶対にしないでください。
- アース工事を必ず行ってください。(D種接地工事)
●上記コンセントの一極接地用に配線してください。
〈ご注意〉アース線はガス管や水道管、電話線用のアース線には絶対に接続しないでください。

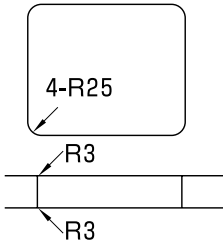


電気工事は、必ず電気工事士の免許をお持ちの方に行っていただきますようお願いします。

2 人造大理石ワークトップへ取り付けされる際のお願い

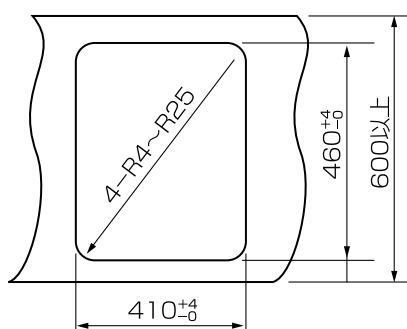
- 人造大理石ワークトップは、加工状態や、高温条件によっては、クラック（ひび）の入ることがあります。右記の要領で加工し施工してください。

(注) 人造大理石の種類によっては、断熱テープ等の対策が必要となる場合があります。

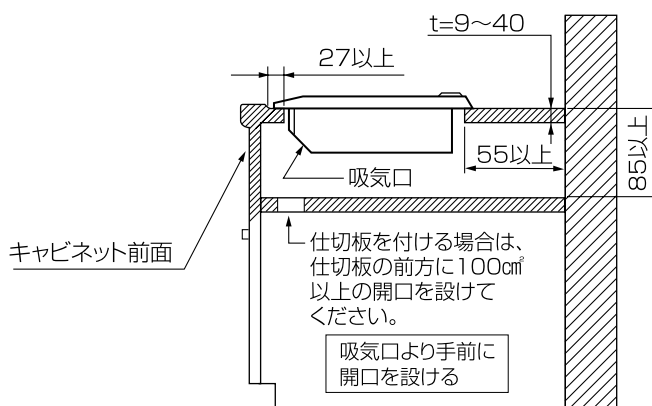
開口部の加工	
	<ul style="list-style-type: none"> ●穴あけはルーターを使用してください。 ●4コーナーのRは極力大きくしてください。 ●切断面の上下エッジは、3Rのアールをつけてください。または#240のサンドペーパーでエッジを丸く落としてください。

3 システムキッチンとの関係寸法図

単位:mm



取り付け穴



側面図

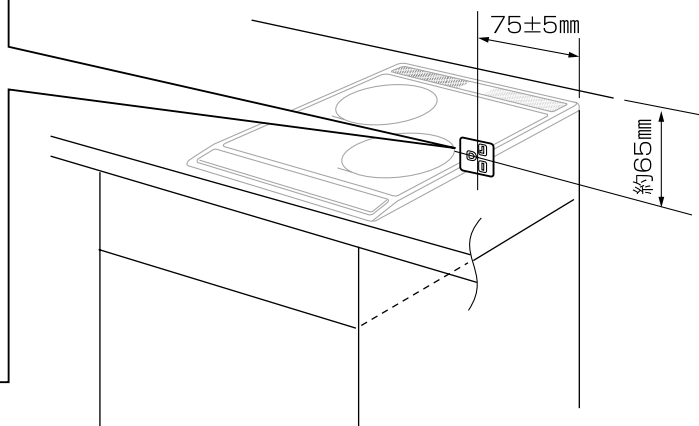
■コンセントの位置

システムキッチン背面の壁のこの位置にコンセントを設けてください。

【コンセントの向き】



※コンセントの向きに注意してください。
コードがキャビネットにあたります。

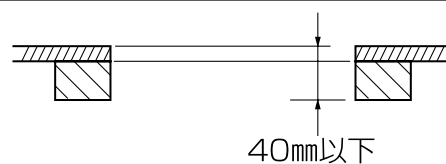


ワークトップについて

(十分な強度のワークトップを使ってください。)

■薄板(ステンレスなど)の場合

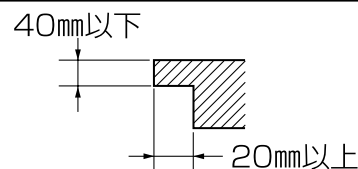
- 打ち抜き穴の場合、裏打ちなどで補強してください。



■材木などの場合

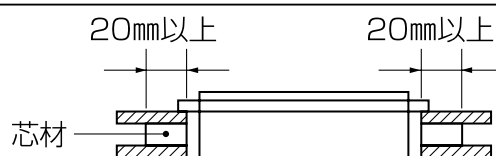
板厚40mm以下のものを使ってください。

- 板厚40mm以上の場合、本体取り付け穴の周囲を、40mm以下にしてください。



■フラッシュ構造(中空構造)の場合

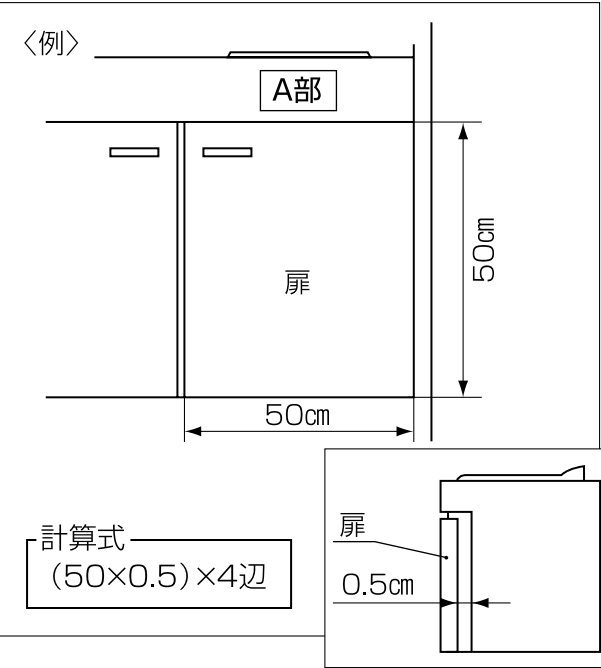
必ず、本体を受ける位置に芯材がくるようにしてください。



キッチンなどに組み込む場合は、本体裏面の吸気口に外気を取り入れるための開口が必要です。

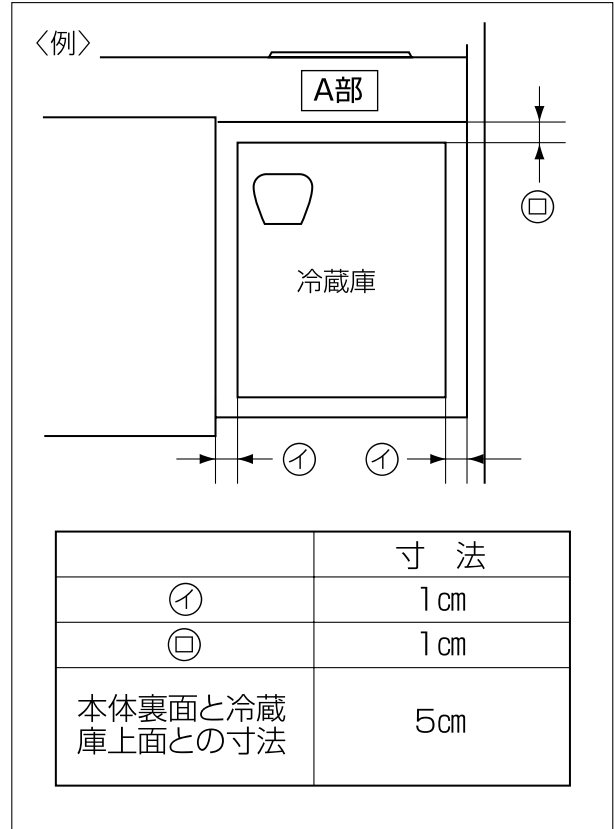
扉タイプの場合

- 100cm²以上の開口を確保してください。



- 上記開口が確保できない場合 **A部** に 100cm²以上の開口穴を設けてください。
(例:5cm×20cm)

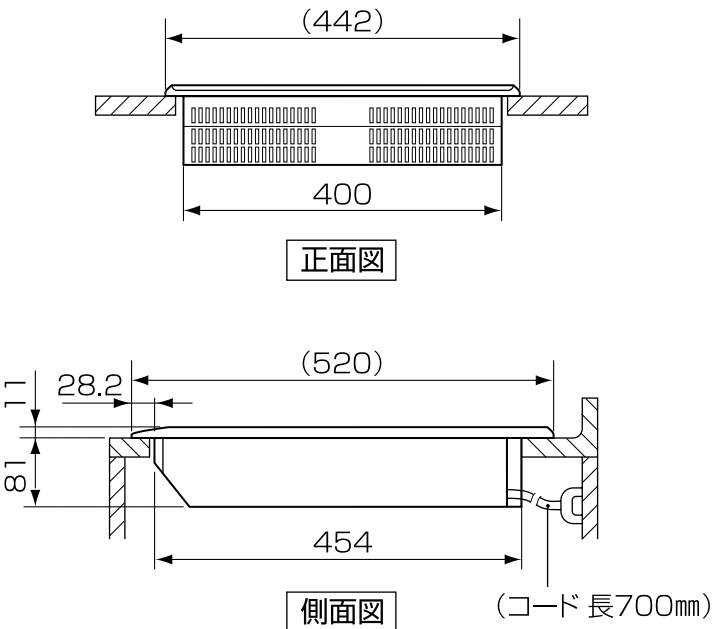
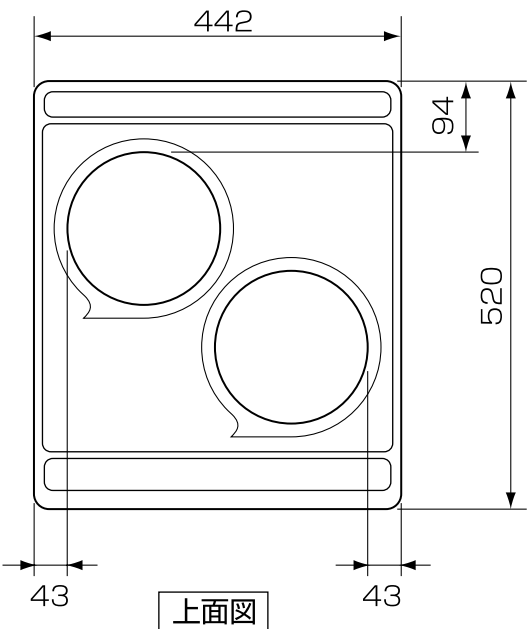
冷蔵庫タイプの場合



■テーブルなどに組み込む場合

- 側面・底面がふさがれるようなテーブルに設置する場合は、100cm²以上の開口を確保してください。

4 製品外形寸法図 単位:mm



5 設置場所の確認

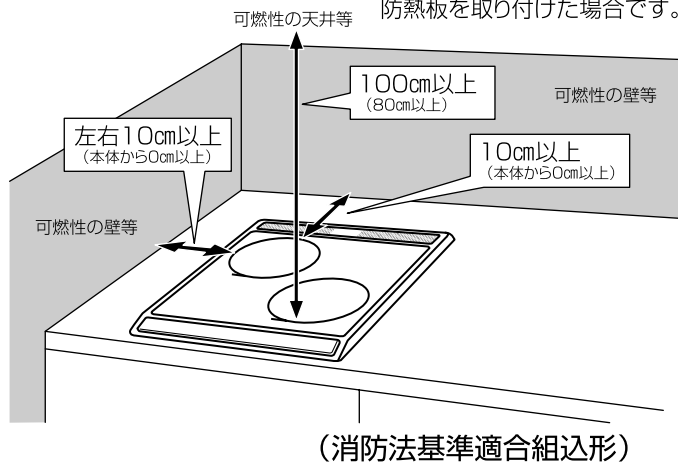
火災予防条例、電気設備技術基準省令第59条に従って設置してください。

■設置工事を始める前に確認してください。

- 器具の大きさに合った**丈夫で水平な台**の上に設置してください。
- 器具は火災予防上、可燃物（土壁・棚）との間を側面10cm以上、背面10cm以上、上面100cm以上離してください。
また、器具の前面は60cm以上離してください。不燃壁の場合はその限りではありません。

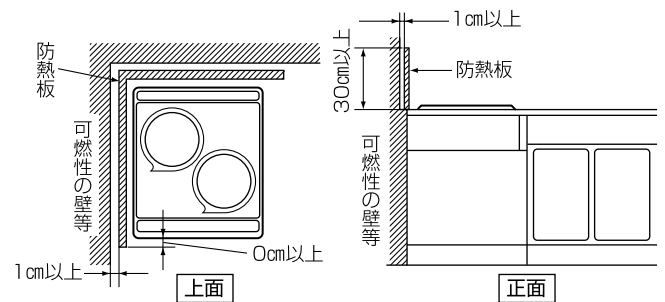
- 周囲に**可燃性の壁・たな等**がある場合や、**可燃性の壁にステンレス板**を貼り付けてご使用の場合は、下図に準じてください。

（ ）内の寸法は不燃物の壁または、防熱板を取り付けた場合です。



※設置をするときは、所轄の消防署に確認してください。

- 可燃性の壁より、左記の距離を離して据付できない場合は、防火上有効な防熱処理をしてください。



- 製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、または、製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。（電気設備の技術基準の解釈について第5章電気使用場所の施設第1節屋内の施設第167条で危害なきよう設置することが定められています。）
- 排気口**をステンレスの水切りカバー（水返しカバー）などで**ふさがない**でください。
- 本体をタイルやモルタルで、**塗り込まない**ようにしてください。点検やアフターサービスの妨げとなります。
- 湿気のすくないところ**に設置してください。
- 十分換気**のできるところに、設置してください。
- 器具のまわりや上部には、エアゾール缶、プラスチック、油、紙類など**燃えやすいものは、置かない**ようにしてください。
- ワークトップは、熱硬化性樹脂高圧化粧板（JIS K 6903）または、これと同等以上の材料を**お使い**ください。
- ワークトップの表面が、ニス引きのものは、変色しますので、**お使いにならない**でください。

〈ご注意〉この機器を設置される台所が、建築基準法に定める【内装制限を受ける調理室】に該当する場合は、台所全体についても内装材の制限を受けます。

- 設置場所と周囲の可燃物、防火措置は、必ず火災予防条例に準じて施工してください。

6 設置する

設置前の準備

■包装材料を取り外し、付属品を確認する



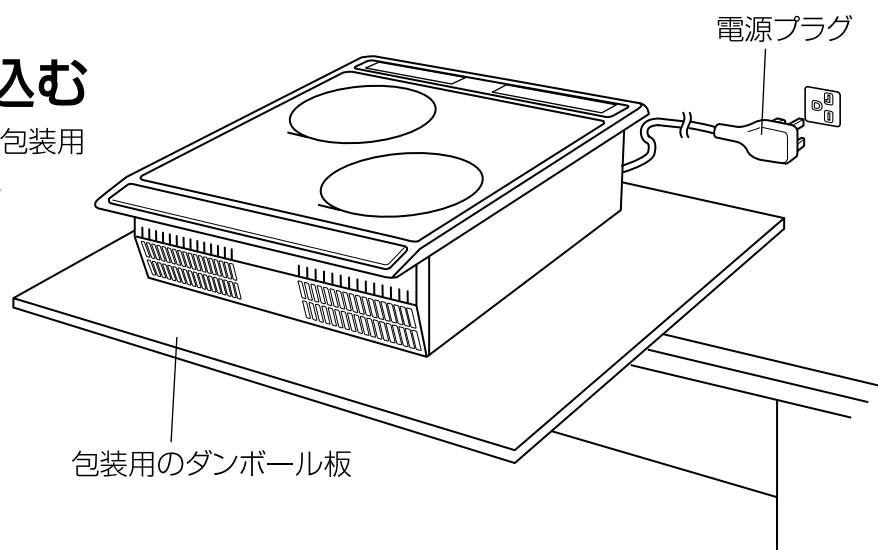
- 取扱説明書、保証書があることを確認してください。

本体の設置

■ブレーカーを“切”にして工事を行ってください。

1 電源プラグを差し込む

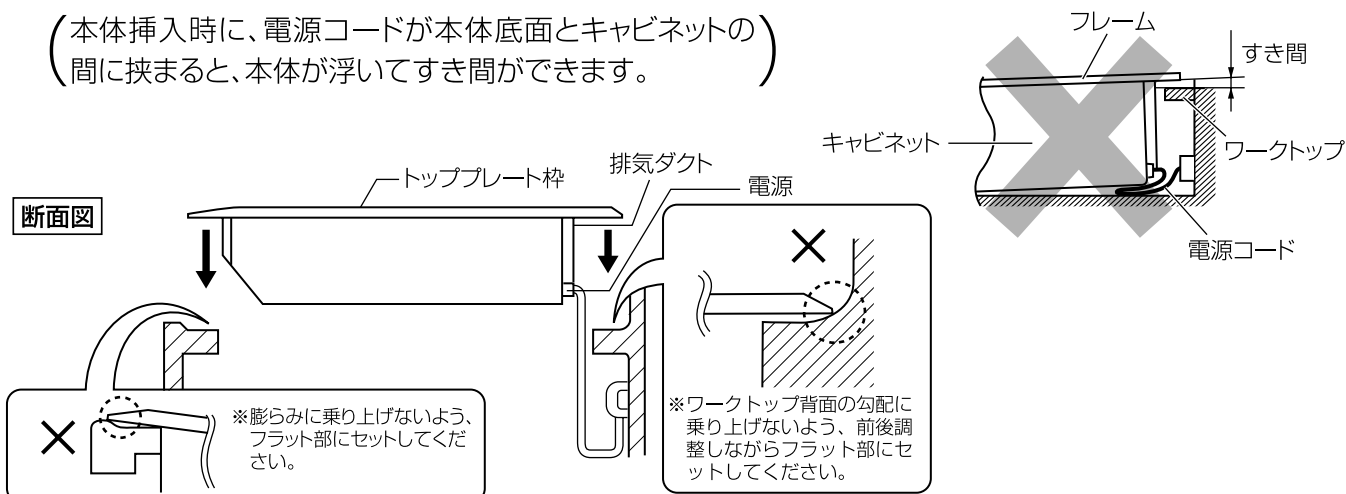
- ワークトップに傷をつけないように包装用のダンボール板を敷いてください。



2 ワークトップに本体を垂直にはめ込む (トッププレート枠を持って静かに取り付け穴へ落とし込み)

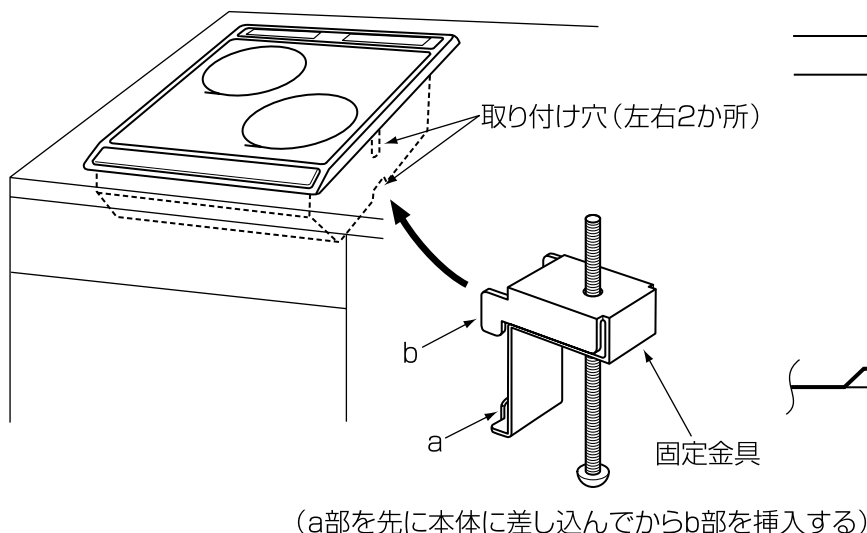
- はめ込み時は、背面の電源や排気ダクトをワークトップに当てないでください。
(電源部の破損や排気ダクトに傷がつく原因になります。)
- 本体とワークトップのすき間が、前後左右で均一であることを確認してください。

(本体挿入時に、電源コードが本体底面とキャビネットの間に挟まると、本体が浮いてすき間ができます。)

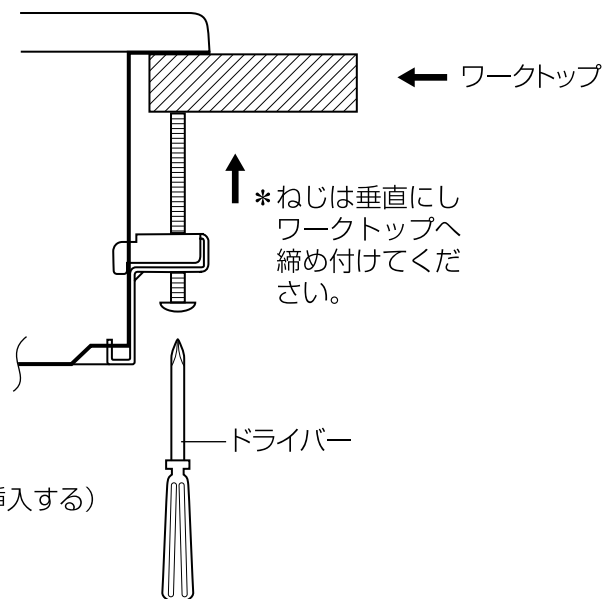


3 固定金具で固定する

- ① 固定金具を本体側面の取り付け穴に引っかける。



- ② 固定金具のねじを確実に締め付ける。
※締め付けるときはワークトップの材質により締め付け力を調整してください。



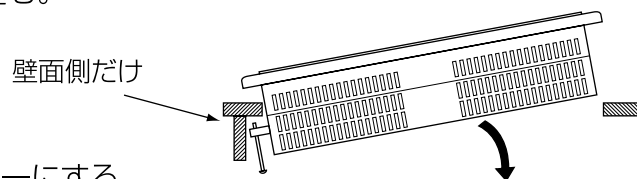
■固定金具が2カ所取り付けられない場合……………

先に、本体側面の取り付け穴に本体固定金具を引っかけていおてから、本体をワークトップにはめ込みます。

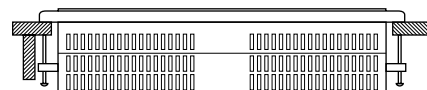
キッチンキャビネットの形状・サイズによっては、据付工事説明書通りに本体固定金具が2カ所取り付けられない場合があります。

その場合は、次の手順で取り付けてください。

- ① (1) 本体側面の本体固定金具取り付け穴に、本体固定金具を引っかけておく。(壁面側だけ)
(2) 本体を傾けながら、ワークトップにはめ込む。



- ② (1) 本体とワークトップの位置を前後左右均一にする。
(2) キッチンキャビネットの内側から、もう片側の本体固定金具を引っかける。
(3) 固定金具(2カ所)のねじを確実に締め付ける。



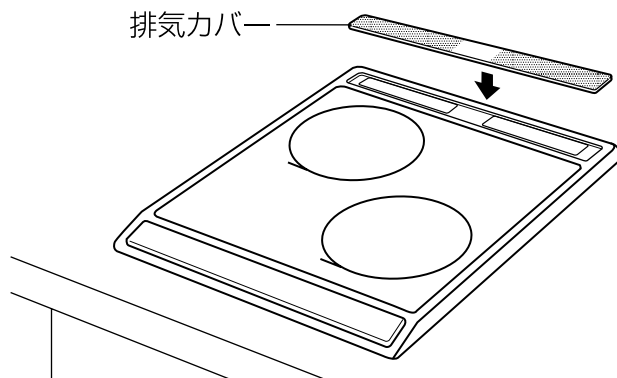
上記の手順でも片側しか本体固定金具が取り付けられない場合は、片側1カ所だけを取り付けてください。

7 設置完了後

付属品の取り付け

■排気カバーを取り付ける。

※天ぷらなべ、取扱説明書、保証書は必ず
お客様にお渡しください。



8 工事完了後の確認

■設置終了後、次の手順で確認し、チェック欄に○印をしてください。

確 認 項 目		チェック
付属品などの取り付け	排気カバーの取り付け。トッププレート面に保護用ダンボールを注記を上にして置く。	
お客様にお渡しする	取扱説明書、保証書、設置工事説明書、天ぷらなべを包装箱から取り出し、お客様にお渡しする。	
外 観	●トッププレート部のフレームは浮いていないか。	
	●トッププレート、操作部シートが汚れていないか。	
	●外観にキズは付いていないか。	
電 気 工 事	設置工事（コンセント、アース工事など）。	
	漏電ブレーカーの設置	
	電源プラグの接続	
電 気 試 験	①ブレーカーを「入」にする。 ②電源電圧が200Vであることを確認する。	
	③電源を「入」にする。 ⇒電源ランプが点灯する。 電源「入」キーを長押し（1秒以上）する。	
	④各ヒーターの動作をチェックをする。 ●左ヒーターのチェック ●操作部の左IHヒーター「入／切」キーを押す。 ⇒左のIH入／切ランプが点灯する。 ⇒左の火力表示ランプが全て点滅する。 ※トッププレートの加熱部に鉄系のなべが置かれている場合しか加熱されません。 鉄系なべがお手元にある場合は、水を入れて加熱されるのを確認してください。 ●付属の天ぷらなべは使わないでください。水を入れると錆びます。 使用した場合は、必ず乾いた布で水気を拭き取ってください。	
	●右ヒーターのチェック 上記左ヒーターと同様に確認してください。	

確認試験後は、必ず電源を「切」にしてください。

東芝コンシューママーケティング株式会社 家電事業部

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）